

# うへだご市議会だより

令和6年3月定例会  
令和6年5月16日号

No.96



議員定数条例の一部改正を可決

次期市議選から 議員定数は28人に!

令和5年度上田地域市町村議会  
議員研修会



令和6年1月18日(木)

「議会力・議員力アップを目指して」

講師：大正大学社会共生学部 公共政策学科 江藤俊昭教授

議員クラブ会独自事業



令和5年12月19日(火)

「発酵のまちうへだの取り組み」

講師：発酵マイスター 原 有紀さん



令和4年11月8日(火)

「木曾義仲丸子史跡探訪研修」  
(安良居神社、岩谷堂、長福寺)

## 議会トピックス

CONTENTS

- 令和6年度一般会計当初予算  
を審査・附帯意見を付す
- 議員定数条例を改正
- 総務委員会、教育厚生委員会  
が市へ提言書を提出

## ～議員定数削減を決定！～

本定例会において、議員提案による「上田市議会の議員の定数を定める条例中一部改正」が可決されました。

次の市議会議員選挙から議員定数が、これまでの30人から2人減員の28人となります。(詳細は4ページに記載)

### 目次

令和6年3月定例会概要、請願・陳情の審査	2-5
常任委員会審査概要	6-7
3月定例会代表質問、一般質問	8-17
総務委員会、教育厚生委員会が提言書を提出	18
委員会行政視察報告	19



会 期 2月26日から3月21日まで（25日間）

議 案 決議案1件、条例案18件、予算案17件、事件決議案6件、  
人事案件1件 合計43件を全て可決または適任と決定

一般質問 代表質問5会派、一般質問19人が実施  
▶▶▶ 質問要旨は8Pから掲載

## 補正予算

### 令和6年度一般会計補正予算 第1号を審査

可決

#### 物価高騰対応重点支援臨時給付金給付事業

294,500千円

① 住民税均等割非課税及び住民税均等割のみ  
課税世帯に対する臨時給付金

1世帯当たり10万円

② 左に記載の①の給付を受ける世帯のうち基  
準日において年度年齢18歳以下の児童が  
いる世帯

児童1人当たり5万円

#### 定額減税補足給付金給付事業

1,325,500千円

所得税及び住民税から定額減税しきれないと見込まれる方に対する補足給付金

## 決 議

### パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦 及び人質の即時解放を求める決議

可決

新生会、上志の風、公明党、壮志会、日本共産党上田市議団、（仁政会）の代表6人の連名により決議案が提出され、出席議員の全会一致で可決されました。

イスラエル軍とパレスチナのイスラム組織ハマスの大規模衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において、人命が脅かされるとともに人々の生活に甚大な被害をもたらす深刻で危機的な状況が続いている。

国際連合安全保障理事会は、昨年11月、特に子どもを守ることの重要性に鑑み、ガザ地区での戦闘休止と人質の解放等を求める決議を、日本を含む賛成国多数により採択しており、現在の危機的な状況を改善しなければならないとの国際社会の意思が表明されたところである。

いかなる場合においても人間の生命と尊厳を守るべきとの国際人道法の理念を尊重し、この戦闘により一般市民が直面している人道上的危機的な状況を改善するために、事態の早期沈静化が求められている。

よって、上田市議会は、この紛争に関わる全ての当事者及び日本政府をはじめとする国際社会に対して、以下の遂行を強く求める。

- 1 即時停戦及び人質の即時解放
- 2 国際法及び国際人道法の遵守
- 3 物資の供給等による人道上的危機的な状況の速やかなる改善

以上、決議する。

令和6年2月26日

上田市議会

# 3月定例会 概要

令和6年度一般会計当初予算を審査  
附帯意見を付す。

一般会計  
当初予算

令和6年度一般会計当初予算を  
審査

可  
決



令和6年度  
一般会計  
当初予算の概要

予算額 712億9千万円（前年度比0.1%減）

＜歳入の主な内訳＞市税 215億円 地方交付税 150億円 国・県支出金 126億円  
＜歳出の主な内訳＞民生費 251億円 土木費 93億円 総務費 79億円

## 一般会計当初予算の主な事業をピックアップ

常任委員会での審査  
概要はP 6-7に掲載

### 総合計画策定事業

8,689千円

第二次総合計画の進捗状況や目標達成状況を検証し、市が目指す10年後の理想の都市像実現に向けて、第三次総合計画を策定する。

### 地域脱炭素移行推進事業

10,365千円

地域エネルギー会社設立に係る経費。

### 附帯意見を付す

地域エネルギー会社の設立に当たっては、下記について確実に実施するよう産業環境委員会の総意として強く要請する。

1. 地域エネルギー会社への出資者及び事業主体を早急に明確にするとともに、設立後5年間の事業計画及び収支計画を明示すること。
2. 事業着手前である地域エネルギー会社の経営に関する詳細を計画した段階において、事業の妥当性、経営の健全性及び将来性を担保する観点から、改めて金融機関等の第三者による専門的かつ客観的な分析と評価を実施し、これを公表すること。

附帯意見…議会または委員会において議決された事件に関して、付随的に付けられる意見。法的拘束力はないが、市は意見を尊重することが求められる。

### 犯罪被害者等見舞金及び日常生活支援給付金

1,500千円

上田市犯罪被害者等支援条例に基づく、犯罪被害者等への経済的な支援に係る経費。（犯罪被害者等見舞金、日常生活支援給付金）

### 交通運輸対策事業

431,581千円

廃止路線代替バスの運行費補助、公共交通のキャッシュレス化、デマンド交通等にかかる費用。

### 附帯意見を付す

下記についてそれぞれ時機を逸することなく取り組まれるよう市民建設委員会の総意として強く要請する。

#### 1. 市民の交通手段の確保について

令和6年4月から実施される路線バスの減便により、帰宅が困難となる高校生や市民の移動手段を確保するための具体的な対応策を検討すること。

#### 2. バス運転手の確保対策について

路線バス減便の直接的な要因は令和6年4月から実施される運輸事業者の働き方改革に関わるものであるが、バス事業を担う運転手の慢性的な不足という本質的な課題に対して、運転手の人材確保につながる多様な取組を講じること。



## 条 例

# 上田市議会の議員の定数を定める条例中 一部改正など全18件

可  
決

### ◆上田市議会の議員の定数を定める条例中一部改正

上田市議会議員の定数を 30 人から 28 人に改めるもの。

#### 【議員定数検討の経過】

上田市議会の議員定数は、平成 18 年の合併からこれまでに 2 回の見直しが行われてきました。現在の議員定数は平成 26 年の一般選挙から 30 人となっていますが、その後、加速する人口減少や議員のなり手不足などの社会情勢の様々な変化を受けて、上田市議会として改めて適正な議員定数を確認するため、令和 5 年 6 月に各会派の代表者と正副議長を委員とする議員定数研究委員会を設置して検討を進めてきました。

研究委員会では、類似都市等の状況調査や比較検討を行うとともに、議会としての役割と機能、上田市を取り巻く社会情勢、市政の置かれている現状、将来展望なども考慮しながら、適正な議員定数のあり方について調査研究を重ねました。

検討の結果、上田市の意思決定機関としての役割、上田市政を監視する機能、市政に対して政策提言をする機能、市民の声を行政に反映する存在であること等の観点を大切に考えて、最終的に適正な議員定数を 28 人とすることとしました。

今回の改定に当たっては、市議会だよりやホームページにおいて市民の皆様のご意見を募集したほか、自治会連合会役員の皆様からもご意見をいただき、結論を出す際の参考とさせていただきました。

このたびの改正案の議決及び公布を経て、次に行われる市議会議員選挙から新たな議員定数が適用されます。上田市議会は、これからも市民福祉の向上と市政発展のため、議会の役割や機能を果たすとともに、議員としての使命と職責を全うすることにより市民の皆様から信頼される議会を目指してまいります。

### ◆上田市議会会議規則中一部改正

### ◆上田市議会委員会条例中一部改正

オンラインによる委員会の開会について必要な事項を定めるもの。

**改正後** 委員は、以下に該当する場合に、オンラインで委員会に出席することが可能になりました。

- ① 大規模災害、感染症のまん延その他委員個人の責に帰すことができない事由により委員会への出席が困難な場合
- ② ①のほか、やむを得ない事由により委員会への出席が困難な場合



## 条 例

### ◆上田市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等の置かれた状況に応じて、適切かつ途切れることのない支援を行うため、必要な事項を定める。

## 3月定例会 賛否の分かれた議案

### ◆議案第10号上田市国民健康保険税条例中一部改正

令和6年度国保事業費納付金が県から示されたことに伴い、同年度の国民健康保険税率を改定するため、所要の改正を行うもの。

#### 採決結果

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長（議長は表決に加わりません）

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	石井 史郎	泉 弥生	村越 深典	中村 知義	武田 紗知	飯島 裕貴	松山 賢太郎	古市 順子	高田 忍	原 栄一	松尾 卓	金沢 広美	矢島 昭徳	堀内 仁志	石合 祐太	齊藤 達也	齊藤 加代美	佐藤 論征	西沢 逸郎	久保田 由夫	宮下 省二	池上 喜美子	半田 大介	金井 清一	飯島 伴典	池田 総一郎	井澤 毅	土屋 勝浩	尾島 勝	欠員	
第10号	欠	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○

※議員氏名の上の数字は議席番号です。

## 皆さんからの請願・陳情 2件を審査

### 請 願

請願番号	件 名	提 出 者	審査結果
請願第1号	ガザ地区の即時停戦などに関する意見書の提出を求める請願	パレスチナの平和と自由を求める上田市民の会 代表 磯野仁美氏 (紹介議員：久保田由夫議員 石合祐太議員)	趣旨採択

#### 本会議における討論

#### 趣旨採択 に対する 賛成討論 (古市議員)

請願の内容については、まったく同感であり上田市議会は3月議会初日に\*「パレスチナ自治区ガザ地区における即時停戦及び人質の即時解放を求める決議」を行った。

同様のテーマについて「議会決議」と「意見書決議」を同一会期の議会で行うことや外交や安全保障は国の専権事項との考え方もあるため、請願については趣旨採択が妥当である。

※決議は2ページに掲載

### 陳 情

陳情番号	件 名	提 出 者	審査結果 (付託委員会)
陳情第1号	資源循環型施設建設の原点回帰 & 環境影響評価中止の陳情	諏訪部自治会 自治会長 茅野孝雄氏	不採択 (産業環境委員会)

## 総務委員会

●3月8日・11日に開催し、  
条例案3件、予算案4件、事  
件決議案3件の審査を行いました。

### 令和6年度一般会計予算

**問** 契約事業費では、入札参加申請  
受付・審査システムを導入する  
とのことだが、事業者と上田市  
における事業効果はどうか。

**答** 事業者においては、電子による  
県で統一した様式を用いるこ  
とで、複数の自治体等への申請  
が1回で済むため、事務の負担  
軽減につながる。  
また、上田市においても、県の  
共同受付により、申請書類の  
チェックや財務会計システム  
の入力などの作業が軽減され  
ることから、申請する事業者

と審査する上田市の双方にメ  
リットがある。

### 上田市総合計画審議会条例 例中一部改正

**問** 令和6年度から審議を開始する  
第三次上田市総合計画策定に  
おいて、総合計画審議会委員の  
定数を60人以内から30人以内  
に変更することだが、委員  
数を減らしてもきめ細かな意  
見聴取ができるよう、市民意見  
をどのように吸い上げるのか。

**答** 分野別意見聴取として、各種関  
係団体との意見交換の場を活  
用することに加え、様々なアン  
ケートやワークショップの開  
催などにより、きめ細かく市民  
意見の聴取を行っていく。

## 産業環境委員会

●3月12日・13日に開催し、  
条例案2件、予算案8件、陳  
情1件の審査を行いました。

### 令和6年度一般会計予算

**問** 地域エネルギー会社の設立につ  
いて、収支計画等の策定状況は  
どうか。

**答** また、収支計画等について第三  
者による確認を行った上で会  
社を設立するべきと考えるが  
どうか。

**問** 収支計画については、設備投資  
にかかる費用等について現在  
精査中である。  
また、会社の設立に当たっては、  
収支計画等について、会計事務  
所等の第三者による確認を行  
うよう現在協議を行っている。

### 令和6年度上田市水道事 業会計予算

**問** 有収率向上に向けた令和6年度  
以降の対応はどうか。

**答** 令和4・5年度については、有  
収率が低かった丸子・武石地域  
において、衛星を使用した漏水  
調査も含め、集中的に調査及び  
管の更新をした結果、有収率の  
向上が図れた。  
令和6年度以降については、上  
田地域、真田地域の調査を行う  
予定である。



「常任委員会」では、条例や予算、事件決議などの審査を行いました。 本会議での委員長報告ほか



●2月26日・3月8日・11日

に開催し、条例案5件、予算案9件、事件決議案1件の審査を行いました。

## 令和6年度一般会計予算

**問** 医療的ケア児等災害対応サポート事業委託料は、医療的ケア児等の家族の防災相談業務や市の防災備蓄品の一部保管などを事業者に委託するために計上したものであるとのことだが、保管される防災備蓄品の内容はどうか。

**答** 4月から本事業を試験的に行う中で、防災相談などを通じ避難時における医療的ケア児等のニーズなどを把握しながら、必要となる備蓄品の内容について保護者や危機管理防災課など

と検討していく。

**問** 市内中学校11校にデジタル採点・成績管理システムを導入するためのライセンス使用料が計上されているが、システムの導入により教員の負担軽減はどの程度見込めるか。また、現場の教員がシステムを活用できるようなように支援していくか。

**答** 年間を通じ全中学校でおおむね5回の定期テストが行われるが、中学校教員がテストの採点にかかる時間を5、752時間縮減できると試算している。また、教員が本システムを活用できるよう、ICT支援員を活用した支援をしていく。

●2月26日・3月12日・13日

に開催し、条例案5件、予算案3件、事件決議案2件、請願1件の審査を行いました。

## 令和6年度一般会計予算

**問** 令和6年4月1日からの市内路線バスの減便が大きな問題となっているが、バス路線を維持していくための市の今後の対応はどうか。

**答** 将来にわたって路線バスを維持・確保するためには、運転手の人材確保と利用促進の両方を図っていかなければならず、事業者の経営基盤の強化や運転手の処遇改善を見据えての対応策を検討していく必要があると考えている。

## 上田市犯罪被害者等支援条例制定

**問** 条例制定において、特徴的な項目は何か。

**答** 市として重きを置いた点としては、第2条の用語の定義として、犯罪の二次被害について具体的にわかりやすく例示していること、第3条の基本理念に関しては、二次被害の防止や犯罪被害者等の支援に市、市民等、関係機関等及び事業者が連携して推進すること、第5条の市民等の役割として、被害者等を地域社会で孤立させないこと、そして、第12条の市民等及び事業者の理解の促進として、教育活動その他の必要な措置を講ずることを規定している点が挙げられる。



# 24人の議員が市政を問う

## 3月定例会代表質問・一般質問要旨

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

答弁者役職	略称	答弁者役職	略称
市長	市長	副市長	副市長
教育長	教育長	政策企画部長	政策企画
総務部長	総務	財政部長	財政
市民まちづくり推進部長	市民まち	環境部長	環境
健康こども未来部長	健康こども	産業振興部長	産業振興
文化スポーツ観光部長	文化スポーツ	都市建設部長	都市建設
消防部長	消防	真田地域自治センター長	真田センター
教育次長	教育次長	上下水道局長	上下水道

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館および上田市議会ホームページからご覧いただけます。なお、一般質問は上田ケールビジョンおよび丸子テレビ放送のご協力により、生放送と録画放送を行っています。

インターネットの生中継、録画配信専用サイトはこちら。



※会派は所属議員3人以上を有する団体（括弧表記の会派は会派に準じる団体）



### 資源循環型施設建設

代表質問 土屋 勝浩 新生会

**問** 地元からの完全なる同意が得られない場合でも、建設地決定の決断を行う覚悟はあるか。

**答**（市長）資源循環型施設建設は地域の最優先課題である。令和6年度を正念場の年と捉え、信念と覚悟を持って全力で取り組んでいく。

### 水道事業の広域化

**問** 広域化を選択した場合、市内の水道施設の耐震化や管路の更新は、他の事業体より優先的に進めることが可能となるのか。

**答**（上下水道）他と比べて遅れているものは優先的に取り組むべきとの考えの下、来年度に設置を予定している（仮称）上田長野間広域化検討協議会において交渉していく。

**問** 上田長野地域水道事業広域化研究会に対して、上下水道を一体化させた広域化も検討す

べきと、市長自らが提言してはどうか。

**答**（市長）私としても上下水道一体化の研究は必要だと考えている。市民の皆様が抱えている不安や課題を少しでも軽減するため、併せて検討するよう提言していく。

### 指定管理者制度

**問** 指定管理者を探す前に、廃止・統合といった施設の在り方自体を検討すべきではないか。

**答**（総務）現在、施設カルテの作成作業を進めている。今後は、施設カルテを利用し、行政コスト分析を行い、施設の在り方の検証に活用できるよう準備を進めていく。

### 【その他の質問項目】

・地域エネルギー会社





## 地域公共交通

代表質問 中村 知義 上志の風

**問** 10年先を見据え、上田市の公共交通を抜本的に見直す必要があると考えるがどうか。

**答** (都市建設) 持続可能な公共交通に向けて、松本市で、複数年にわたり運営を事業者に委託する公設民営化の取組が進められており、抜本的な見直し策の一つとして、その効果と課題について研究を進める。そして、第三次総合計画の策定を見据えつつ、誰もが安心して利用できる地域公共交通の実現を目指し、利便性の向上に取り組み、将来にわたる持続可能な交通体系の維持・確保に努める。

## 地域未来投資促進法に基づく 第2期上田地域基本計画

**問** 企業誘致に向けた取組はどうか。

**答** (産業振興) 3つの重点促進区域全体に産業



## 能登半島地震への対応

代表質問 半田 大介 公明党

**問** 被災地への災害派遣や支援を通じて得た、災害時の市の課題は何か。

**答** (市長) 市が被災し、支援者などを受け入れる場合の受援計画の重要性を認識し、災害時応援協定等を締結する関係機関との日常的な調整、外部からの支援ルート等を整理する。

## 組織体制づくりと事業展開

**問** 複数の公共施設の維持管理、修繕を行う包括管理業務委託を導入する予定はあるか。

**答** (総務) 複数の施設に包括管理業務委託を導入し施設所管課職員の負担軽減、施設維持管理の質の向上に取り組む。

**問** GX・DX分野への外部人材の活用はどうか。

**答** (政策企画) 地域エネルギー会社の体制強化として新年度、地域おこし協力隊を活用し<sup>\*</sup>企

用地を誘導すべく、進出を検討する事業者の意向にも全庁体制で丁寧に対応する。また、地元の関係の皆様や事業者等と連携しながら取り組んでいく。

## 国道254号線バイパス事業と (仮称)道の駅まるこ

**問** (仮称) 道の駅まるこ整備事業を早急に進めるべきと考えるがどうか。

**答** (市長) 国の求める地方創生・観光を加速させる拠点として、新たな魅力を持つ地域づくりを担える道の駅となるよう、庁内で検討している。公共施設の統廃合から民間活力の導入など、公共施設マネジメントに先進的に取り組む事例となるよう、着実に進める。

【その他の質問項目】

- ・令和6年度予算編成
- ・スポーツ都市上田
- ・市長の公約

業版ふるさと納税(人材派遣型)も導入を検討する。

## 魅力ある農業

**問** ブドウの生産高が特に上昇している。食べるブドウのブランド化について考えはどうか。

**答** (産業振興) 農林水産省の農業産出額推計値では平成29年と令和3年の品目別の比較でブドウは7億7千万円から13億4千万円と5億7千万円増加した。農業者の収益力向上と気候風土による品質の良さから、代表する作物としてブランド力の強化を図りたい。

【その他の質問項目】

- ・市税と自主財源
- ・保育の課題
- ・計画の更新と見直し

※企業版ふるさと納税(人材派遣型)…企業版ふるさと納税の仕組みを活用して、専門的知識、ノウハウを有する企業の人材を地方公共団体に派遣する制度



## 持続可能な自治体運営

代表質問 宮下 省二 社志会

**問** 第四次上田市行財政改革大綱アクションプログラムの進捗状況はどうか。

**答** (総務) 令和4年度目標に対する担当部局の自己評価は達成が54項目、未達成が7項目であり、市の附属機関である市行財政改革推進委員会に報告を行い、取組を進めている。

**問** 遊休財産等の処分促進の状況はどうか。

**答** (副市長) 直近10年間の処分量は合計で5億5千万円余となっている。今後も処分に努めたい。

**問** 市の借金である起債の償還状況等はどうか。

**答** (財政) 平成24年度末の660億円余に対して令和4年度末は640億円余となり3.1%の減少となっている。このうち借入利率が1%を超えるものは14億円余の2.2%である。



## 子育て支援

代表質問 古市 順子 日本共産党上田市議団

**問** 県は来年度から、通院医療費助成の対象を中学校3年生以下に拡大する方針だが、市の軽減額の見込みはどうか。

軽減分を子育て支援施策に活用すべきだが、見解はどうか。

**答** (市長) 市の財源負担軽減は7,450万円ほどと見込んでいる。軽減による財源の活用については、子育て施策や子どもの健全育成全般に使うことが望ましいと考えている。

**問** 学校給食費の無償化は段階的に進めるべきであり、無償化に当たっては国・県への働きかけが必要と考えるが、見解はどうか。

**答** (市長) 段階的であっても市独自で恒久的に対応を進めることは難しい。全国市長会でも実施を関係省庁等に要請している。

**問** 土地開発公社の土地保有額の見通しはどうか。

**答** (副市長) 平成18年度は124億円余であったが、令和5年度末は約10億円余の見込みである。

**問** 行財政改革大綱アクションプログラムでは水道事業の広域化の検討とあるがどうか。

**答** (市長) 令和6年度から広域化検討協議会への参加により各種課題等を踏まえ、先送りせず広域化検討の方向性を見出していく。

## 中学校部活動の地域移行

**問** 中学校の外部指導者に対する見解はどうか。

**答** (教育長) 外部指導者が大きな力になるため、協力関係を築くことは最重要課題と考える。

【その他の質問項目】

- ・上田市総合計画等
- ・上田市太陽光発電設備の適正な設置に関する条例

## 水道事業広域化

**問** 水道広域化施設整備の総事業費は570億円だが、市関係はどのくらいで、財政支援はどうか。

**答** (上下水道) 染屋浄水場の更新費用で102億円、染屋浄水場から諏訪形浄水場への連絡管整備に約6億円、滝の入水源開発で約5億円、合計113億円を見込んでいる。令和16年度までの時限措置で3分の1の補助金がある。残額の2分の1まで一般会計出資債の対象となり、元利償還金の60%の普通交付税措置がある。

**問** 染屋浄水場の耐震化の考えはどうか。

**答** (上下水道) 広域化する場合と単独による場合の耐震化、更新に係る費用の比較について、今後示せるよう算出していく。

【その他の質問項目】

- ・市の財政
- ・防災・減災
- ・国民健康保険、介護保険
- ・農業政策
- ・真田地域の情報伝達手段の再構築



## 女性支援新法を実効性 あるものにするために

石合 祐太 新生会

**問** 本年4月の\*困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行を踏まえ、市ではどのような支援をしていくか。

**答** (市民まち) 基本的にはこれまで同様、女性相談員をはじめとする庁内の相談窓口等で丁寧に各種相談に応じるとともに適切な支援を行い、専門的な機関へ適切につなげ、相談者の不安や負担の軽減、課題の解消に努める。



## 事業経費の効果的活用と 健全な将来への投資

松山 賢太郎 (仁政会)

**問** 新庁舎改修改築工事の総費用はいくらか。

**答** (総務) 市庁舎改修・改築に係る総事業費は83億7,800万円である。内訳は、新本庁舎建設工事に68億7,900万円、南庁舎の耐震及び内部改修工事に6億4,700万円、旧本庁舎高層棟の解体及び地下部分の改修工事に5億6,400万円、駐車場や植栽等の外構工事に1億7,400万円、仮庁舎移転などの工

**問** 新法では市町村において基本計画の策定及び支援調整会議の設置が努力義務とされるが対応方針はどうか。

**答** (市民まち) 市としての計画の策定は広域的な専門機関等による連携が必要なことから、広域的な範囲での共通した計画の策定が支援の標準化や連携強化の観点から効果的と考える。支援調整会議と併せて県の基本計画の内容を確認し、今後の検討としたい。

### 【その他の質問項目】

・満蒙開拓平和記念館自治体版協力会員制度への申込

事に9,900万円、基本構想及び基本計画の策定に1,300万円である。

**問** 各種行政事業を行政レビューシート形式で分かりやすくして、広く市民へ公表できないか。

**答** (総務) 市で同様の取組は難しい。既に国に準じた手法で点検・評価を実施しているが、全ての事務事業での統一様式による評価は未だ十分ではない。行政事業レビューの手法も参考にして評価手法を検討し、全庁で評価結果を予算編成や実施計画の策定に活用するとともに、評価結果を広く市民の皆様に公表する取組も検討する。



## 再編後の鹿教湯病院へ の財政支援

久保田 由夫 日本共産党上田市議団

**問** 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院が地域医療に果たしている役割をどう捉えているか。

**答** (健康こども) 回復期リハビリと難病対応などを柱とした医療や介護サービスの提供とともに、病院群輪番制病院として上小地域の二次救急医療を担っている。上小医療圏の地域医療確保に大きな役割を果たしている。

**問** 当初予算に補助金1億円が計上されたが、初年度とのこと。補助の期間や総額はどうか。

**答** (健康こども) 市の財政負担を軽減するため特別交付税を活用し財政支援する。期間は令和6年度から令和11年度までの6年間で、市の補助総額は5億7,400万円を予定している。財政支援により鹿教湯病院の持続可能な医療提供体制の安定確保を図り、地域の医療提供体制の維持、充実につながると考えている。

### 【その他の質問項目】

・上田市再犯防止推進計画  
・税務行政

\*困難な問題を抱える女性への支援に関する法律…性被害、生活困窮など複合的な課題を抱える女性に対し、官民協働で対応する仕組みを作るための法律





## Jリーグ秋春制移行。 菅平へキャンプ誘致を

武田 紗知 上志の風

**問** Jリーグのキャンプシーズンに当たる予定の6・7月に、菅平において、キャンプを受け入れられる体制はあるか。

**答** (真田センター) 天候にもよるが、グラウンドコンディションのよい時期であり、6月から7月中旬までの平日であれば、比較的受け入れやすい状況ではないかと感じる。菅平高原観光協会、旅館組合をはじめとした関係団

体と連携し、調整する必要がある。

**問** 菅平をキャンプ地としてアピールしていくべきと考えるが、見解はどうか。

**答** (真田センター) 仮にキャンプ地選定条件に合致すれば、スポーツ合宿の聖地菅平高原の魅力アップにつながる大きなチャンスと認識している。関係団体との連携を強化し、キャンプに関する有益な情報収集に努め、菅平高原を積極的にPRしていく。

### 【その他の質問項目】

- ・母子生活支援施設



## 熊対策

金沢 広美 公明党

**問** 熊の出没予防等を目的とした里山整備事業の具体的な熊対策はどうか。

**答** (産業振興) 自治会等の団体が実施する森林整備等の活動に対し交付金を支給する、里山整備事業制度は新年度予算に計上されている。この事業の一つである緩衝帯の整備は、熊を人の生活圏に近づけない有効な取組であるので、制度の活用を周知していく。

**問** 児童生徒と保護者等が熊の生態などを学習す

るための取組はどうか。

**答** (産業振興) 長野県クマ対策員 NPO 法人ピッキオによる野生鳥獣の学習会は新年度から計画している。小学校付近や身近な施設で熊の目撃情報もあり、市民が生活する上で注意するポイント、野外活動や山に入る際の注意事項が学べる内容を検討している。熊や野生鳥獣による被害防止につながるよう取り組む。

### 【その他の質問項目】

- ・市民の森公園の整備方針



## 自治会運営の展望

池田 総一郎 上志の風

**問** 自治会役員の高齢化などに伴う担い手不足や未加入者の増加など、自治会運営の根幹に関わる課題が昨今増えている状況に対して、市としてどのように取り組んでいく考えか。

**答** (市民まち) 上田市の自治会加入率は、合併以降おおむね1年で0.8%ずつ減少している。令和3年から「ながの電子申請サービス」を活用して、インターネット経由で自治会加入

申込ができるようにするとともに、自治会連合会が独自にホームページを構築するなど、いわゆる自治会の見える化やデジタル化の取組を始めた。自治会加入促進リーフレットについては、今年度中に、1月の能登半島地震などの状況を踏まえ、災害時における具体的な事例や写真などを掲載し、自治会加入への理解が深まる内容となるよう取り組む。

### 【その他の質問項目】

- ・長野大学理工系学部新設とIT関連企業誘致
- ・脱炭素先行地域への取組
- ・中学校部活動の地域移行



## 上田市で最大規模の 自然災害の被害想定

斉藤 達也 新生会

**問** 想定される最大規模の自然災害による被害想定と指定緊急避難場所及び指定避難所の収容人数はどうか。

**答** (総務) 過去に発生した最大規模の地震は、1707年宝永地震、1847年善光寺地震、1854年安政東海地震、1912年上田地震があり、いずれも震度5～6程度。被害想定は、地震災害では糸魚川静岡構造線断層帯による

地震を最大震度7と想定し、発生確率は100年以内で40～70%、被害は死者数2,000人、負傷者数2,180人、重傷者数1,140人、最大避難者30,320人、断水人口14,450人、停電件数66,760件と想定している。洪水・土砂災害では、浸水被害の最大値として千曲川流域の2日間の総雨量を386mmと想定し、最大10～20mの浸水が発生する可能性により、洪水氾濫の危険区域は41自治会に及ぶと想定している。指定緊急避難場所74か所(屋外)の収容数は約20万9,000人、指定避難所66か所(屋内)の収容数は約1万9,000人を見込んでいる。



## 能登半島地震被災地支援 を踏まえた防災対策

松尾 卓 公明党

**問** 能登半島地震以降、市民からの耐震診断申込み数は予定を超えている。効果的に建物被害抑制を図るため、建物倒壊20%超のリスクが高い地域への対策が必要だが、これまでリスクが高い地域で木造住宅耐震診断や耐震改修工事に係る補助金が利用された割合はどうか。

**答** (都市建設) これまでの17年間で、木造住

宅の無料耐震診断は801件実施し、耐震改修等工事204件に補助金を交付した。全壊率20%超の地域における耐震診断申請件数は40件、全体の約5%であり、そのうち補助金を活用し、耐震改修等の工事が12件実施された。今後、耐震改修工事に係る予算拡充のため、財源確保に向けて国・県に働きかけるとともに、災害ハザードマップを活用し、庁内連携により、リスクの高い地域の住民に一層周知していく。

### 【その他の質問項目】

・法定外予防接種の公費助成に向けた取組



## 大規模災害から命と 暮らしを守るために

矢島 昭徳 上志の風

**問** 大規模災害発生時における消防力確保の取組はどうか。

**答** (消防) 消防団と管轄消防署で各種災害に対応する合同訓練を行っている。技術の向上、連携の確認はもとより、信頼関係を深めるためにも重要な訓練と考えている。また、相互応援を円滑に行うため、近隣市町村との情報交換や相互訓練に参加するなど努めていく。

**問** 水道施設が破損した場合の消火活動における水利確保の取組はどうか。

**答** (消防) 阪神・淡路大震災以降は耐震性貯水槽の整備を進めている。また、大型水槽車の活用や、民間事業者との協定に基づき、ミキサ車による消火用水の搬送も計画している。

**問** ヘリポートの現状はどうか。

**答** (総務) 市内には5か所ある。新たなヘリポートの設置に向け、調整を図っていく。

### 【その他の質問項目】

・農地の地域計画



## 公共施設等の トイレの整備

高田 忍 社志会

**問** 災害時に利用できる移動式トイレの備蓄状況はどうか。

**答** (総務) トイレ用便座、専用テント、車椅子トイレなどの資機材、約2万4千点を市内25か所の防災倉庫に分散し保管している。

**問** 公共施設において、ユニバーサルデザインに配慮したトイレ整備はどうか。

**答** (文化スポーツ) 多様な人々が利用できるこ

とを目指したユニバーサルデザインの考えは重要であると捉え、誰もが安心して利用できるトイレ整備を念頭に取り組んでいく。

**問** 市内建築家やデザイナーに観光トイレを設計してもらい、設置はできないか。

**答** (市長) 話題性のあるトイレが観光誘客につながるということは全国各地でしばしば見られる。建築費用や維持管理費用を考えると慎重な対応が必要であると考えている。

### 【その他の質問項目】

- ・広報うえだ
- ・美ヶ原台上整備



## 多様な学びの場を 推進する施策

飯島 裕貴 新生会

**問** ※通級指導教室のさらなる設置の考えはどうか。

**答** (教育長) 指導を見込む児童生徒数や教室の過密状態、設置率を考慮して配置されている。県は支援を必要としている児童生徒の増加に対し、設置教室が不足しているため増設の方針を示しており、本市においても本年度中学校1校にまなびの教室が新設された。来年度も小中学校のそれぞれ1校ずつに新設が見

込まれており、引き続き必要な学校に設置されるよう県に要望していく。

**問** 教員の校務負担軽減推進施策の現状はどうか。

**答** (教育長) 来年度からICTを活用したデジタル採点・成績管理システムを中学校11校に導入し、負担軽減と成績分析を活用した学力向上にもつなげていきたいと考えている。また、教員業務支援員も県の費用で全小中学校に配置予定となっており、充実した学校教育の活動の推進につながると捉えている。今後も双方を活用し、さらなる負担軽減に努めていく。



## 教科書採択

泉 弥生 日本共産党上田市議団

**問** 教科書展示会は期間が短く、多忙で行けない教員もいる。教科書選定には、現場の教員の声は重要であると考えているが、各学校に教科書とアンケートを回覧する等の取組はどうか。

**答** (教育長) 実際に使用する教員の声は大変重要である。教科用図書調査研究員には、上小4市町村で教科の免許を持ち、単元に精通する専門の現職の校長、教頭及び教員から5名を委嘱している。調査研究には、調査研究

委員会の主体性を尊重しているが、委員が現場の教員の意見も参考に進めていると承知している。

**問** 道徳の発行者が変更された理由は何か。

**答** (教育長) 児童や、どのキャリアの教員も授業展開がイメージしやすい構成で、広い視野で様々な話題に触れられるよう多様な教材を掲載している。主体的な学びを大切にする配慮がある。

### 【その他の質問項目】

- ・部活動の地域移行
- ・保育園
- ・校則
- ・平和行政

※進級指導教室…通常学級に在籍し、そこでの学習におおむね参加できるが、言葉の発音や読み書き、計算、対人関係等に課題を抱える児童生徒に対して、学校生活をスムーズに送ることができるよう適切な指導を行うための教室





## 若者に向けた 市の魅力発信

堀内 仁志 上志の風

**問** 上田市は、若者が憧れるまちになっているか、市の魅力を十分発信できているか。

**答** (政策企画) 高校生が上田市を住みやすいまちと感じる点は喜ばしいが、夢や希望がかなわないと感じる点は、真摯に受け止める。若い世代へのアンケート調査、ワークショップ等も計画し、若者の将来への思いを現状・将来の施策に反映できるよう取り組む。

**問** 市長自らが、直接市内の高校3年生に「投票することの重要性」を伝えることの有効性をどのように考えるか。

**答** (市長) 若年層の投票率の低さは、憂慮すべき状況である。若者が政治に関心を持ち、地域の将来を考え、行動することは貴重である。高校生と意見交換する機会を捉え、選挙及び政治参加の重要性も伝えていきたい。

### 【その他の質問項目】

- ・ 予算執行基準の見直し
- ・ 不登校の未然防止



## ごみ減量で資源循環型 施設をコンパクトに

齊藤 加代美 新生会

**問** 環境省は、使用済みおむつの割合は2030年度には、ごみ全体の7%と推測しているが、紙おむつのリサイクルに取り組む考えはあるか。

**答** (環境) 幼保の使用済みおむつは、毎週300キロ程を回収している。国の調査では、約5%を紙おむつが占め、市の排出量は約1,700トンと推計される。紙おむつのリサイクル化は必要かつ重要であり、令和6年度から運用予

定の民間施設が行う紙おむつのリサイクルのテストプラントの状況等も確認し進めていく。

**問** 紙・布ごみの割合が、令和4年度65.2%と、過去5年から5%アップしている。リサイクルへの取組と周知はどうか。

**答** (環境) 雑がみ回収袋を再度作成し、ウィークエンドリサイクル会場等で配布、周知や意識の向上等を図る。丸子地域で実施している雑紙のネット回収を上田地域でも実施する。

### 【その他の質問項目】

- ・ 放課後児童クラブ等の人材確保
- ・ 小1の壁を乗り越えるための機運の醸成

# 令和6年度上田市議会 開会予定

令和6年度の市議会開会予定日が決まりましたのでお知らせします。

- ◆ 令和6年6月定例会 ⇒ 令和6年6月10日(月)
- ◆ 令和6年9月定例会 ⇒ 令和6年9月2日(月)
- ◆ 令和6年12月定例会 ⇒ 令和6年11月25日(月)
- ◆ 令和7年3月定例会 ⇒ 令和7年2月21日(金)

※会期は概ね1ヶ月間

日程詳細は、開会予定日の概ね1週間前にHPにて公表します。➡





## 保育士・看護師人材確保

飯島 伴典 上志の風

**問** 看護人材の確保に向けた取組はどうか。

**答** (健康こども) 若者の看護系大学への進学の後押しと、卒業後は故郷上田で働いていただくため、今年度から新たに看護師確保修学資金貸与制度を創設した。令和5年度は、県内大学に在学する2人に貸与している。積極的に制度の周知等を図り、看護人材の確保につなげたい。

**問** 看護師や保育士に対する税制優遇制度創設へ

の見解はどうか。

**答** (財政) 重要課題に対する様々な可能性を検討する姿勢が必要であるとの提案と受け止めるが、公益性や妥当性、公平性の観点から、非常に厳しい。

**問** 市長の本気度はどうか。

**答** (市長) 少子化、人口減少社会を迎える中、保育士確保にとどまらず、労働力の確保は共通の課題である。今後も努めていく。

**【その他の質問項目】**

・シェアサイクル



## 日本遺産を生かした観光

村越 深典 社志会

**問** インバウンドにおいて、発信とおもてなしが重要な要素と考えるがどうか。

**答** (文化スポーツ) 現在、信州上田観光協会のインバウンド部会において、行政と協会員である民間事業者が連携して効果的な情報発信やおもてなしの心がこもった受入れ体制などについて検討を進めている。現在はスマートフォン等の翻訳機能が充実してきたことから、こうした機能を活用して、外国人観光客

が安心して旅行できるような体制を整えていきたいと考えている。

**問** 令和8年度、日本遺産の認定の総括評価、継続審査の対象となる。専門家の意見を聴取するなど取組が必要と考えるがどうか。

**答** (文化スポーツ) 専門家にどのようなアドバイスをいただくのか、またどのような形態でアドバイザーをお願いするのか等、既に重点支援地域として認定されている地域や、継続的に専門家から意見を聴取している先進自治体について状況を調査し、研究していく。



## 水道事業の広域化

尾島 勝 新生会

**問** 現時点において、市長は水道広域化についてどのように考えているか。

**答** (市長) 広域化の道を選ぶにせよ、単独経営の道を選ぶにせよ、水道事業は大変厳しい状況であると感じている。全国的に水道事業は、人口減少及び水需要の減少に伴う給水収益の減少、水道施設の老朽化による更新費用の増大、熟練職員の退職等に伴う技術力の低下といった課題を抱えている。本年、(仮称)上

田長野間広域化検討協議会に参加する。また、協議会事務局は、上田駅前ビルパレオ5階に設置する予定で協議中である。24時間365日止めることのできない最重要インフラである水道事業を永續可能なものとするため、国からの補助期限が令和16年度までであることを見据え、共に広域化を検討している他自治体のことも考慮して広域化協議会に参加し、令和6年度中に結論を出していく。



## 地域公共交通

井澤 毅 新生会

**問** 4月からの減便で部活や塾に通う高校生も乗って帰るバスがなくなってしまう。これについて市はどう対応するのか。

**答** (都市建設) 直ちに代替による移動手段を確保することは難しい。減便の内容について利用者へ周知を図っていくことが重要である。

**問** 2024年問題はトラックやタクシー事業者も同じで、今後さらにドライバー確保は難しくなる。減便で利用者は減少し、経営は今まで

以上に厳しくなると想像される。公設民営や自動運転バスの導入など、これまでとは違うレベルの対策をスピード感を持って行う必要があると考えるが、市の考えはどうか。

**答** (市長) バスの運転体験ができる会社説明会、外国人の登用、自動運転の活用等あらゆる選択肢が考えられる。それらを排除せず、しっかりと前へ進んでいきたい。そして、必ずすばらしい交通体系をつくっていくようにしっかりと取り組んでいきたい。



## 児童クラブの施設整備と老朽化対策

池上 喜美子 公明党

**問** 子どもたちが長時間を過ごす学校施設内・外の児童クラブの整備や老朽化対策は、現在ある計画を前倒ししても優先的に進めるべきだ。現状と早急に対策を行わなければいけない施設についての考えはどうか。

**答** (教育次長) 20の小学校区に分室を含め24施設あり、11施設が学校敷地外。築40年を超える施設は14でうち7つが敷地外にあ

る。中でも東部の児童クラブは、登録児童数が市内で最も多く、児童数の増加に伴い本館と敷地外の分室、比較的學校から離れた東部南の3つの施設を順次整備してきたが、2つの敷地外の施設は老朽化が進み、加えて東部南は交通量が多い歩道を歩いて児童が通う施設であることから早期に対応できるよう検討を進めている。

**答** (市長) 放課後の子どもたちの安全安心の環境整備は重要な施策。早急な対応を指示した。

### 【その他の質問項目】

・子ども誰でも通園制度

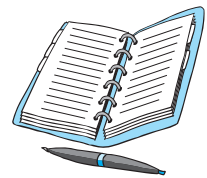
## 本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想をいただきました～

3月定例会本会議の傍聴者数は延べ49人でした。傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。

- 一般質問を1日傍聴させていただきました。質疑が活発でよかったと思います。
- ライブ感というか、生で聞くとこんなに話がわかりやすいんだなと感じました。
- 初めて傍聴しました。質問です。「採決の際に起立する場合としない場合は何が違うんですか？」  
【回答】起立採決が原則です。簡易採決(立たない)になる場合は、議案に対して反対者がいないと予想される場合等です。議案に対して異議がないかを会議に諮り異議がなければ可決の旨を宣告します。

## 傍聴者の声





## 総務委員会、教育厚生委員会から 執行部に対し提言書を提出しました。

### 総務 委員会

これまでの調査内容を踏まえ、指定管理者制度のあり方について次のとおり提言します。

- 1 指定管理者制度導入施設の第三者評価を行うとともに、評価結果を踏まえた総括的な評価を実施し、指定管理になじまない施設については、見直しを行うこと。また、指定管理者制度導入等における施設類型ごとの具体的な判断基準を設定すること。あわせて、民間活力を活かすため、指定管理は原則公募とし、非公募とする場合の基準をより明確化するとともに、指定管理者が自主事業等を導入しやすい環境整備を検討すること。
- 2 上田市公の施設指定管理者候補者選定委員会について、利用者の代表などのさらなる外部委員の導入を検討すること。
- 3 同選定委員会の調査審議終了後速やかに、選定結果（理由）等の公表を行うこと。
- 4 公共施設全体についてのマネジメントを担う専門部署の設置を検討すること。あわせて、合併前の旧4市町村で設置された温泉施設の必要性などの判断基準を統一し、一元管理する部署の設置を検討すること。
- 5 公共施設の必要性の判断基準とするため、「施設カルテ」を作成し、公表すること。
- 6 サウンディング型市場調査結果に基づく民間提案を民間のスピード感に合わせて反映できるよう配慮すること。また、公募型プロポーザルをさらに活用すること。
- 7 公正・中立な第三者機関による評価を実施する委員会の設置を検討すること。
- 8 先進自治体の取組等を研究し、民間提案制度の導入と随時民間提案を受け付けることのできる常設窓口の設置を検討すること。

### 教育厚生 委員会

これまでの調査内容を踏まえ、令和6年度から開始する第四次上田市民健康づくり計画において、施策、事業が効果的に推進されるよう、次のとおり提言します。

- 1 医療機関と連携し、引き続き特定健診の受診率向上に向け取り組むこと。
- 2 野菜摂取の重要性を市民に対し啓発するため、関係機関と連携した取組を強化すること。
- 3 地域全体で子育てを支える環境づくりを、民間団体等とも連携して推進すること。
- 4 保険者との連携により、市民の健康に関するデータを収集分析し、施策に活用するよう努めること。
- 5 市内企業における従業員の健康増進に向けた取組を支援すること。
- 6 健康づくりチャレンジポイント制度の拡充など、市民の健康づくりに対するインセンティブの拡充を図ること。

# 委員会行政視察報告

各委員会では、所管する事務事業が抱える課題に関して、他自治体の先進的な取組などを市政に反映させるため、行政視察を行っています。

前回号に引き続き議会運営委員会、広報広聴委員会の行政視察について報告します。

報告内容の詳細は上田市議会ホームページをご確認ください。



報告内容詳細

## 議会運営委員会

### 1 静岡県菊川市「委員会のオンライン会議及び運用規定」

菊川市では、「菊川市議会災害時業務継続計画」の策定に伴い、有事の際にオンライン委員会の開催を可能とするため運用規定を整備した。

また、オンライン委員会の開催に係る議会例規等の改正に当たり、議会運営委員会の下部組織として議会ICT推進チームを立ち上げ専門的な検討を行った。

上田市議会においても、**※オンライン委員会の開催に係る議会例規等の整備**について、今後も他議会の取組の調査研究を行いながら着実に進めていきたい。

### 2 岐阜県瑞浪市「一般質問進捗状況調査」

瑞浪市では、議員の一般質問に対する執行部の答弁について、曖昧な答

弁を防ぐことや、答弁に対する進捗を確認することを目的に、「一般質問進捗状況調査」を制度化した。制度化して7年が経過し、執行部の答弁も明確な答弁が増えるなど成果が現れている。

一般質問進捗状況調査は、上田市議会においても有用であると考え、進捗状況調査の導入には、運用におけるルール作りや執行部側の対応方法等様々な調整が必要であるため引き続き検討していく。



※3月定例会において関係条例の改正案を可決（詳細は4ページに掲載）

## 広報広聴委員会

### 1 千葉県成田市「広報広聴の取組」

成田市議会だより「みんなのなりた」は、市民が登場する表紙や特集ページを設けたり、AR（拡張現実）を取り入れるなど、読みたくなる工夫を行っている。また、コロナ禍を除き毎年高校生との意見交換会を実施するなど広聴機能の充実に力を入れている。

上田市議会としても読んでもらえる議会だより作成のため、取組を参考としたい。また、高校生との意見交換は、主権者教育はもとより、若者が議会に関心を持つきっかけにもなるすばらしい取組である。

### 2 神奈川県茅ヶ崎市「茅ヶ崎市議会公式YouTubeチャンネル」

茅ヶ崎市では、公式YouTubeチャンネルを開設し、決算特別委員



会での審査内容等について、動画配信を行っている。動画は、テロップや場面展開が丁寧かつセンス良く製作されており、クイズも盛り込むなど、クオリティが非常に高い。

上田市議会でも、議会報告会の動画を配信しているが、より多くの方に見てもらえるように、PDCAで実践しながら検証していくとともに、動画のクオリティを上げるための編集スキルの習得に取り組みたい。

# 市議会レポート

## 令和6年能登半島地震へのお見舞い

令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

上田市議会では、被災された皆様が一日も早く以前の生活に戻られますよう、被災地の復旧、復興にお役立ていただくため、北信越市議会議長会を通じて義援金62万円をお届けさせていただきました。

被災された皆様の安全と被災地の一日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。



## うえだ市議会だより読者アンケートの結果

前回95号にて実施した読者アンケートにつきまして、82名の方にご回答いただきました。ご回答いただいた皆様ありがとうございました。

いただいたご意見は今後のうえだ市議会だより編集の参考とさせていただきます。アンケート結果については右側の二次元コードからご確認ください。



上田市議会 HP

## 手話を学ぼう

市議会だよりでは、「いま覚えてほしい手話」をお伝えしています。

今回のテーマは

### 「大切なつながり」

“長野県ホームページ”  
「手話辞典」



①両手の親指と人指し指で  
作った輪をつなぎ合わせる。

②左手の甲に右手のひらをつけて  
軽くなでる仕草をする。

## 編集後記

いつも市議会だよりをご覧いただき、誠にありがとうございます。

私たち、第5期前期、最後の議会だよりの編集となりました。これまで、市民の皆様にも市政や議会を身近に感じていただけるよう、議会の見える化、議員の素顔や笑顔をお届けできる表紙づくり、皆様の声をお聞きする広聴に注力してきました。今年度は4年ぶりのテーマ別車座集会を開催し、いただいた貴重なご意見から、議員間討議や提言につなげることができました。また、予算をかけなくても、議員自ら、タブレットを活用し録画・編集を行ったWEB議会報告会の発信に挑戦ができたこと、大変嬉しく思っております。

この努力の裏には涙しながら編集した楽しい思い出もあり、共に汗をかき作業した広報広聴委員会は、常に最高のチームでした。

2年間ありがとうございました。

広報広聴委員長

齊藤加代美